

もったいない・あおり県民運動展開中

3R 実践編

「3R」とは、ごみを減らし、循環型社会をつかっていくためのキーワード！
「Reduce」「Reuse」「Recycle」の言葉の頭文字を取ったものです。

1 リデュース [Reduce]

生ごみ・食品ロスを減らす「3つのきる」

1つめの「きる」→食材は使いきる



2つめの「きる」→作った料理は食べきる



3つめの「きる」→ごみを出すときは、水気をきる

生ゴミの重さのうち約8割は水分です。水気をしぼってごみに出せば、重量も燃やす際のエネルギーも節約できます。



ごみになるものを減らす



2 リユース [Reuse]

使えるものは、繰り返し使用する

衣類も回収しています

まだ着られるけど、サイズが合わなくなったりして、不要となった洋服はありませんか？ 古紙リサイクルセンターのほか、一部の市町村では家庭で不要となった衣類を回収して、再利用する取組を行っています。



【古紙リサイクルセンターでは、衣類も回収しています】

詳しくは、県庁 HP [古紙リサイクルセンター](#) このほりが目印

ものをくりかえし使用する

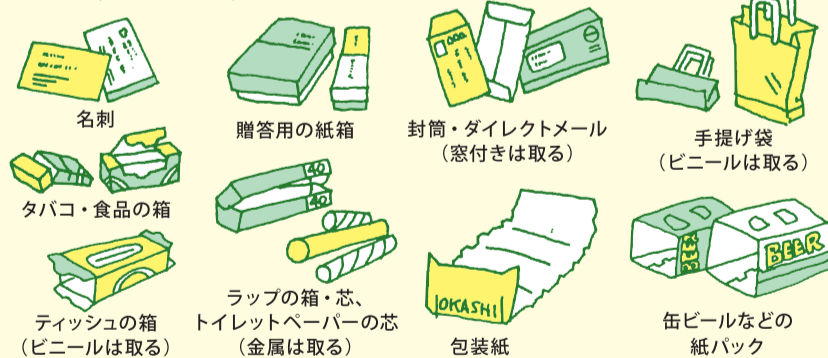


3 リサイクル [Recycle]

分別して、資源となるものを再び利用する

新聞、雑誌、本、段ボールはもちろん、「雑紙」も貴重な資源です。

◎^{ざつみ}雑紙(その他紙)って、こんな紙



小さな雑紙は古封筒や紙袋に入れてまとめると便利です。

雑紙の上手なまとめ方



- ◎お住まいの市町村のルールに従って、資源物とごみを正しく分別しましょう。
- ◎町内会や学校などが行う集団回収やスーパーなどの店頭回収、古紙リサイクルセンターなどを日頃から上手に活用しましょう。
- ◎古くなったり、壊れたりしたデジカメや携帯電話などの小型家電の回収がはじまっています。詳しくはお住まいの市町村へお問い合わせください。